

令和3年度第1回 浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和3年5月27日(木) 午前10時00分～12時00分

2 開催場所 浜松市役所 51会議室

3 出席状況

エリア連絡会名	所属	出席者氏名	
中エリア連絡会	中障がい者相談支援センター	藤川 晴海	
	中区社会福祉課	飯塚 康敬	
東エリア連絡会	東障がい者相談支援センター	平野 明臣	
	東区社会福祉課	久野 加津夫	
西・南エリア連絡会	西・南障がい者相談支援センター	後藤 翔一朗	
	西区社会福祉課	宮本 明浩	
	南区社会福祉課	内藤 淳	
北エリア連絡会	北障がい者相談支援センター	小楠 絢子	
	北区社会福祉課	梶田 和彦	
浜北・天竜エリア連絡会	浜北・天竜障がい者相談支援センター	今田 将晴	
	浜北区社会福祉課	島田 佐栄実	
	天竜区社会福祉課	内山 敦子	
	相談支援事業所シグナル	尾関 ゆかり	
		阿部 祥美	
事務局	障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛	
		山下 由佳	
		岸 直樹	
		永田 貴裕	
	障害保健福祉課	生活・就労支援グループ	柴田 多美子
			山内 愛美
			谷口 真知子
			藤田 あい

4 議事内容

- (1) 医療的ケア児等コーディネーターについて
- (2) 令和3年度協議会スケジュールについて
- (3) 専門部会報告
 - ・虐待対応ワーキング
 - ・委託相談評価ワーキング
 - ・計画相談ワーキング
 - ・こどもワーキング
- (4) エリア連絡会の地域生活支援拠点等の取り組みについて
- (5) 日中支援型グループホームの評価・助言について
- (6) 健康づくり課のエリア連絡会参加について
- (7) その他
 - 令和3年度予算について

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活・就労支援グループ 藤田

6 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無

7 会議記録

(1) 医療的ケア児等コーディネーターについて

資料を元に担当者（相談支援事業所シグナル）より説明

- ・今年度より浜松市社会福祉事業団が委託を受け活動。相談件数はまだ少ないが、家族から就学前の相談対応、病院の依頼で退院前カンファレンスに参加。
- ・主な事業内容は「相談」「名簿管理」「災害時支援」「意見交換」「研修企画」「協議会運営」の6つ。名簿管理は災害時支援に役立てていきたい。
- ・それぞれの相談支援事業所にも出向き、一緒に支援を考えていきたいと考えている。

<意見>

- ・コーディネーターとしてどんな相談を受けているか。
⇒（コーディネーター）新型コロナウイルスの影響で市外から浜松市へ転居してきたケースより市内でのサービスの利用相談、医ケア児の保護者より兄弟支援等の相談も入っている。
- ・災害時個別支援計画の現状の作成状況等教えてほしい。
⇒（コーディネーター）個別支援計画は、計画相談の更新時等に作成予定であるため、今後コーディネーターから相談支援専門員へ声掛けをしていく予定。
- ・市民向けのチラシは配られているか。
⇒（事務局）障害保健福祉課より各区に送付する。

(2) 令和3年度協議会スケジュールについて

資料を元に事務局より説明

(3) 専門部会報告

○虐待対応ワーキングについて資料を元に担当者よりに説明

- ・10月からスキームを利用していくため、手引きの活用を含めた研修会（委託相談・各区社会福祉課担当者対象）を8月26日（木）15時から開催予定。
- ・手引きの内容は、通報窓口の各区役所一本化、区役所や障害保健福祉課の役割、委託相談との連携、長期的・権利擁護的視点に関すること。職員が異動になり新しい担当になっても対応できる内容にしていきたい。
- ・専門性が不足する部分もあるため委託相談と相談しながら対応していきたいが、区役所内に委託相談が設置されていない区もあり、対応には工夫が必要。各エリアでどのような工夫をすべきか協議してほしい。

<意見>

- ・なぜスキームを見直す流れになったのか。
⇒（担当）区社会福祉課で虐待案件を受ける際に対応に悩む職員が多いことがワーキングの出発点。虐待通報件数が増加傾向にあり、虐待の判断がしづらいグレーゾーンの案件が出てきたことも見直しの要因。通報する側、通報を受ける側に認識のずれがあると通報者が通報しづらいこと、異動等で担当職員が変わっても対応できるようにする必要がある。
施策への反映や緊急保護が必要な案件は障害保健福祉課対応になるが、被虐待者対応は区社会福祉課で対応するという流れでスキームを作成したい。
- ⇒（担当）高齢者福祉の事例を参考にしつつ、区役所職員の対応が不慣れな部分は委託相談にも一緒に関わってもらい、足りない部分を補ってもらおう。
- ・作成したスキームや手引きは実際使ってみないと分からない。判断に悩む案件が入り、虐待対応に手を取られることで窓口業務が滞ってしまうのではないかと心配はどの区においてもあると思う。
⇒（事務局）スキームは随時改善していきたい。障害保健福祉課は緊急時のみの対応するのではなく、必要時区をバックアップする。
- ・通告する側（事業所等）の周知や研修はどのようにするか。
⇒（事務局）検討中。
- ・虐待通告窓口は区役所だが、区が必ず最初に聞き取りをしなくてはいけないということではない。まずは電話を受けた機関が聞き取り、受け止め、適切などころにつないでいきたい。
- ・時間外の対応に関しても同様に考えればよいか。
⇒（事務局）時間外の対応については、今後検討予定。

○委託相談評価ワーキング

資料を元に担当より説明

- ・評価の狙いは、それぞれの委託相談の活動の振返りであり、委託相談の良し悪しを比較するものではない。

<意見>

- ・項目が多く検討に時間がかかった。実績データはシステムから抽出ができたり、事前に項目を把握していればセンター内の協議に時間がかけられるのではないか。
- ・委託相談として苦手分野や伸ばすべきところがみえたのは良かった。
- ・基準が曖昧な箇所があり、判断に悩んだので明確な基準があった方が良い。個別での評価後、職員全員ですり合わせをしたが個々で捉え方や考え方が違った。
⇒（事務局）いただいた意見を元に改善していきたい。

○計画相談ワーキング

担当より資料を元に説明

- ・エリア連絡会と相談支援専門員連絡会からあげられた計画相談の業務改善提案についてワーキングで回答作成。エリア連絡会、相談支援専門員連絡会へ回答していく予定。
- ・計画相談支援事業所の業務負担軽減のため、計画相談支援事業所が区役所へサービス等利用計画等の提出をする際、管理区への提出を原則としていたが、今後は管理区以外での提出も可能とする。

<意見>

- ・区役所での提出票の保管期間はいつまで必要か。
⇒（事務局）書類紛失等のトラブル防止のためのものなので長い保管の必要はない。検討し連絡する。
- ・計画相談支援事業所は書類作成の手間があり、事務が増えるのではないか。1年様子を見て利用頻度を確認するのはどうか。
⇒（事務局）送付票等の書類作成は書類紛失防止の対応であるためご理解頂きたい。元の提出の仕方でも対応可。

○こどもワーキング

- ・担当者より資料を元に今後のスケジュールについて説明

<意見>

- ・事例検討においてツールをどのように生かすのか不安がある。
⇒（事務局）ツールを活用しての事例検討においての不安や疑問等を事務局にて集約するため、6月4日までに連絡を。
- ・定型発達に関する資料があると子どものイメージが付きやすいのではないか。
⇒（事務局）別紙資料で作成済み。

(4) エリア連絡会の地域生活支援拠点等の取り組みについて

資料を元に各エリアより取り組み状況の報告

<意見>

- ・エリア連絡会として地域生活支援拠点等（以下「拠点等」という。）について意識が不十分と感じた。相談の構造化や制度利用の分野が苦手であることがわかった。
- ・地域の体制づくりはつながりたいところとなかなかつながれない現状がある。
- ・拠点等についてはエリアとして特化して取り組んでいなかったため、意識する機会になった。エリアで取り入れられるものは今後検討したい。
- ・地域生活支援拠点等に係る加算を取っている事業所の把握の必要があると感じた。まずは地域の社会資源を確認していきたい。
- ・エリアとしてどのような体制があるとよいか議論してみても良いのではないかと。
⇒（事務局）今まで地域生活支援拠点等の視点を持って活動することについてエリア連絡会や委託相談に伝えていなかったが、エリアの中で意識づけや、エリア連絡会の活動に落とし込むことで気付きや補いたい部分など事務局に提案してもらいたいと考えていた。事業所情報など事務局からも周知をしていきたい。
- ・地域生活支援拠点等について、浜松市としてどのように取り組んでいるか流れを示してもらえるとエリア内での検討の際にもっとわかりやすかったのではないかと。

<事務局より>

今後地域生活支援拠点等検討委員会を設立予定だがメンバーについて意見があればうかがいたい。現状では市全体を見て、必要なものを検討できる人で、協議会の全体会一部メンバーを想定している。

⇒特に意見なし

(5) 日中支援型グループホームの評価・助言について

資料を元に事務局より説明

- ・前回の企画会議での意見を反映し、報告書様式に地域移行やヒヤリハットの項目を追加。
- ・令和3年4～5月に委託相談、障害保健福祉課、基幹相談支援センターで市内の事業所4か所を訪問し、評価・助言の仕組みについて説明を実施。
- ・今年度より各エリア全体会にて事業者とエリア全体会構成員の意見交換の場を持ち、そこに基幹相談支援センター、障害保健福祉課も同席予定。

<意見>

- ・中エリア連絡会は第2回全体会を9月開催予定

(6) 健康づくり課のエリア連絡会参加について

資料を元に各エリアより報告

<意見>

- ・(中エリア) 全体会に健康づくり課長が継続参加の予定。今年度はオブザーバーとして参加し、今後の参加方法を検討。それぞれの役割分担を明確にしていきたい。
- ・(東エリア) 元々ケースでやり取りをしている。参加要望を出しているが、健康づくり課の業務多忙により、調整が必要。
- ・(西南エリア) こども部会の参加を想定しており、西区と南区それぞれ検討中。
- ・(北エリア) 健康づくり課長やグループ長に相談し参加について承諾を得た。研修会の参加から関係づくりを図っていきたい。
- ・(浜北天竜エリア) 天竜は委託相談再編前から参加している。

(7) その他

○令和3年度予算について

資料を元に事務局より説明

○就労支援について

- ・就労企画会議を定期的で開催している。委員の方より自立支援協議会や委託相談と連携を図ってほしい希望あり。
- ・今年度後半に就労に関するアンケート実施を検討中。

次回企画会議：7月29日(木) 10時～ 51会議室